

科目名 「 歯科保健指導論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2学年	前学期	岡元 明菜

単位数	2
学習目標 (GIO)	実際の患者診療に向け医療面接の技術を修得し、エビデンスに基づいた歯科保健指導を実施する。
担当教員	石橋、移川、和田、中澤、岡元、学事委員
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版 (株) 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『オーラルヘルスケア辞典』 学健書院 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』
参考図書	『よくわかる歯科衛生過程』 医歯薬出版 (株) 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』 医歯薬出版 (株) 『歯肉を読む』 クインテッセンス (株)
評価方法 (E V)	客観的試験100点満点、定期試験100点満点で合計200点満点とし、これに授業参加状況等を考慮して総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	質問は授業終了後か教員室へ来てください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10	歯科衛生調査法Ⅱ	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生調査の目的・方法を理解し、グループごとにテーマを決定し作業を行う。 ＊将来的に勉学向上の精神を持ち、学会発表に至る経過を修得すること。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 テーマを決定する。 調査計画を作成する。 担当の先生とコンタクトを取る。 仮説を立て、予備調査を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (歯科衛生士教本『歯科保健指導総論』4章) (45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【学習方略 (LS)】 グループワーク</p>	石橋 岡元 学事委員

<p>第2回 4/17</p>	<p>患者対応法</p>	<p>【授業の一般目標】 患者対応で必要となるコミュニケーション能力を養い、相手に好印象を持たれる要素を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 言葉遣い、態度、表情など好感をもたれるポイントを理解する。 患者さんへの適切な対応方法を理解する。 信頼関係を気づくための態度を修得する。 行動変容の過程について述べるができる。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章) (45分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第3回 4/24 授業日時を 変更する 可能性があります</p>	<p>医療面接の とらえ方</p>	<p>【授業の一般目標】 医療面接の目的や必要性を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 医療面接と問診の違いを説明することができる。 情報収集の方法を説明することができる。 信頼関係を確立するためのコミュニケーションについて理解する。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章) (45分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第4回 5/1</p>	<p>情報収集の方法</p>	<p>【授業の一般目標】 相互実習で患者さん役から得た情報を業務記録に記載する。 【行動目標 (SB0s)】 情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 患者さんから得られる情報の種類を推論することができる。 患者さんから得られた情報を業務記録に記載することができる。 【準備学習項目・時間】 (新歯科衛生士教本歯科診療補助) (45分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>業務記録について I</p>	<p>【授業の一般目標】 業務記録の目的・必要性を理解し、法的位置づけについて学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 業務記録を作成する目的を理解する。 業務記録の必要性を理解する。 SOAPIEについて理解する。 業務記録の保管について理解する。 【準備学習項目・時間】 (新歯科衛生士教本歯科診療補助) (45分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>

<p>第6回 5/15</p> <p>第7回 5/22</p>	<p>歯科保健指導の 実際</p>	<p>【授業の一般目標】 症例患者の情報を基に、歯科保健指導を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 問題点を列挙することができる。 問題点に対する改善策を述べることができる。 適切な口腔清掃用具を選択することができる。 患者さんの生活背景を分析することができる。 適切な保健指導を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 事前に症例を提示しますので、症例患者の情報を把握してください。(45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第8回 5/30</p> <p>5/29 歯科予防処置と 交換</p>	<p>客観的技能試験</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習における患者指導に必要な知識・技能を評価する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 問題点を述べることができる。 問題点に対する改善策を述べることができる。 口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。 適切なブラッシング方法を提案することができる。 適切な保健指導を提案することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 試験用症例患者の問診票等を事前に配布します。(45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【学習方略 (LS)】 実技試験</p>	<p>移川 和田 中澤 岡元</p>
<p>第9回 6/5</p> <p>第10回 6/12</p>	<p>客観的技能試験 フィードバック I・II</p>	<p>【授業の一般目標】 客観的技能試験のビデオ鑑賞を行い、今後の自己課題を見出す。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ビデオ鑑賞において、自身を客観的に評価する。 ビデオ鑑賞において、他者の指導内容を考察する。 模擬患者と担当教員からのフィードバックを基に今後の自己課題を示す。</p> <p>【準備学習項目・時間】 客観的技能試験の自己振り返りをしておくこと。(45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 フィードバック</p>	<p>移川 和田 中澤 岡元</p>
<p>第11回 6/19</p> <p>第12回 6/26</p>	<p>歯科衛生調査法 III・IV</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生調査の目的・方法を理解し、グループごとにテーマを決定し作業を行う。 *将来的に勉学向上の精神を持ち、学会発表に至る経過を修得すること。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 調査計画の再検討を行う。 調査結果から今後の展開を考察する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (歯科衛生士教本『歯科保健指導総論』4章) (45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【学習方略 (LS)】 グループワーク</p>	<p>岡元 学事委員</p>

<p>第13回 7/3</p> <p>第14回 7/10</p> <p>第15回 7/17</p>	<p>歯科衛生過程 I・II・III</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生過程の必要性を理解するために、事例を用いて活用方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯科衛生過程の目的を述べるができる。 SOPIEについて理解することができる。 8つのヒューマンニーズを分類することができる。 歯科衛生診断の立て方を理解することができる。 長期目標・短期目標を立てることができる。 歯科衛生診断を立てることができる。 長期目標・短期目標を立てることができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 進行状況に応じて指示する。(45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・グループワーク</p>	<p>岡元</p>
---	----------------------------	---	-----------